

全然知らなかつたといふ重大過失によるものであると自白した。
 當チヤーチルはビルマルト再開を發表したが日本の各紙は極めて冷静に所定の行動に邁進あるのみと、英蘭を呑むの氣概を見せてゐる。而して英の今回の暴行は三國同盟に對する最初の態度であるが之を以て英國の對日敵性は愈々明瞭になつたものとみられてゐる。
 (十月九日)
 一、英労働階級に起る不平不満の聲は愈々高まりつつありチヤーチルは狼狽してゐる。(十月十日)
 一、最近列ソ關係口語を傳へるもの少からずあるかタス通信社は之を否定し右は爲にする者のデマ宣傳なる旨強調した。(十月十日)

本日の新聞論調 (第六百四十一號) 内閣情報部 一五・一〇・二二(五)

内 容 目 次

- △米國の對日策動
 - 一、米の對日逐迫策 (朝日)
 - 二、恫喝政策の危険 (讀賣)
 - 三、蘭印問題とアメリカ (國民)
- △日ソ兩交關係の好機 (日日)
- △大政翼賛會 (都)
- △統一性を缺く貿易政策 (報知)
- △領土要求の先決要件 (中外)

△米國の對日策動
 一、米の對日逐迫策 (朝日)

我最高外交團策が大東亞共榮圈確立の一點に焦點を結んで以來、殊に此國策貫徹の手段としての日獨伊三國條約締結の前後から米の對日態度が急速に硬化の傾向を辿りつゝあることは吾人のしばしば指摘せることである。皇軍の佛印進駐直後に發表された二千五百

萬弗の援蔣借款、今月十六日をもつて効力を發生すべき肩鐵、鐵鋼の全面的禁輸令の如きは其最も顯著なものはれてあり、更に在極東米人に對する引揚勸告や、在支米陸軍軍引揚考慮說等が米當局の聲明如何に拘らず、對日威嚇牽制意圖に出るものであることは疑ひの餘地を残さない。米國の對日壓迫策強化行爲の連鎖は假にそれが經濟壓迫の域に止るにせよ、日米關係の一層の險惡化を増進することは明白であり、そして其連鎖の最後の一環が兩國關係の全面的破局であることを今日に於て米國は強く銘記すべきであらう。米が大東亞共榮圈確立と三國條約の眞實の目的を認識し、いはんなき疑心暗鬼を一掃して理性に立歸らんことを太平洋と世界平和のために重ねて要請するものである。

一、恫喝政策の危險 (譯賣)

米政府は日滿支及香港在住の米人の引揚げを警告した。英を壓迫してビルマ・ルートを解放せしめ、ソ聯を懐柔して日本包圍陣を築かんと策動してある米國としては今後日本の不滿が自國に對して爆發するのではないかこの不安も湧くであらう。英の焦慮も米國に劣らないものがあり英米が太平洋の明日に備へその策動いよいよ深刻化したとき松岡外相は所信を發表したが米政府當局に之を正解し得るの餘裕があらうか。米政府の對外政策は國內に湧起する公正の輿論には耳を掩ひ自ら進んで恫喝政策を弄し好んで國際危局の増大をはからんとする風がある。→

この恫喝政策の續行で我國を屈服せしめ得ると解してゐるかも知れぬが思はざるの甚しい殊に一定の限度がある。この限度を越ゆる時如何なる事態に陥るか、米國としても之だけは豫め考慮しておく必要があらう。

一、蘭印問題とアメリカ (國民)

最近米國の蘭印問題に關する遣り方は實に奇怪なものがある。即ち蘭印の生産品を獨占せんとするのみならず、特に日本への輸出を制限、或は禁止せしめんと策動してゐる。更に米國は蘭印問題を單に經濟的のみならず政治乃至軍事的見解を加へて是に施策し始めた事である。思ふに米國の是等の策動や計畫は正しく東亞新秩序出發に對する挑戦であり我東亞に於ける指導的立場に對する反逆として是を受取らねばならない。日蘭會商に就いて我等は彼我の意見は完全に一致するものと確信してゐる。併し米國の態度が既に斯くの如くである以上、我等は蘭印問題を新たな規角から見直す必要がある。別言せば米國を相手とし、對照として蘭印問題を新たに考慮せねばならなくなつたことを痛感するのである。これを措いては大東亞共榮圈の確立は決して容易ではない。

△日ソ國交調整の好機 (日日)

今や日ソ兩責任當局者の意圖がそれぞれ判然として來た以上、今後國交調整の基礎が強化するか否かは双方の態度にかゝること論を俟たぬ。と同時に相互に其立場を理解し平等互譲

の精神によつて懸案の處理にあたれば、其解決も至難でなくかくて兩國が友好親善關係に入ることは必然といへやう。こゝに於て我等は三國同盟要旨に明記せる如く日本の企圖するところは共存共榮の旨をあぐまに是る新秩序を建設することが恒久平和の基であること、を強調せんとする。蘇聯も常に「平和」主義を唱へ現状打破金權主義打破を叫んで来た以上、相通するものがあることは明瞭である。我等は蘇聯が英米等からのばされる誘惑の手に眩惑されることなく、眞に我國に向つて胸襟をひらき恒久親善、平和の基礎を築かんことを切望してやまぬものである。

△大政翼賛會（部）

國民待望の大政翼賛會の成立は喜ぶべきも其目的を完全に達成するや否やは組織よりも運用する人にある。近衛公は首相にして翼賛會組織をかねるが故に其責任の最も重きのみならず翼賛會組織が公の理念及構圖に基き、聊も違ふ所なく公の構圖の儘に組織せられて公に三重の大責任あることは吾等の指摘し置くところである。翼賛會が實際の行動を開始するに方り最も懸念するは議會との關係である。新體制に於ては議會に諮る前に行政府の人ご議會の人ごの調和を圖り地方協議員の意見を容れ、朝野一致の態度を執らんとして居ると思はれるが、此方法によれば議會は形式的機關となりはしないか。それでは議員の不平不満を醸し出すなきを保し難く、場合によつては新政黨の現出ともなるであらう。

吾等が翼賛會の成立を喜びつゝも杞憂を禁ぜざるは此點であり、其目的を完全に達成するも否らざるも之を運用する人にありといふ所以である。頼むべきは近衛公の卓越せる聲望である。

一、英米依存の殘滓（統一性を缺く貿易政策）（報知）

地方長官會議に於て星野企畫院總裁は國際情勢を説き國民に經濟生活上の覺悟を要求してゐるが、既に英米聯合して對日經濟壓迫を加へんとする時、政府が卒直に此事態を認め國民に最後の決心をさせようとする事は當然の措置である。此意味で外貨獲得を第一とする是迄の政策から大轉換して東亞プロツクを中心とする交易に發展せねばならぬ。然るに河田商相は圓プロツク向輸出の調整を強調してをり所謂商工省の「調整」が事實上の輸出制限である事を思へば、此處にも抜き難き英米依存思想の片鱗が見える。かゝる重大政策に關してすら經濟關係のなす指示が論旨區々に岐れ、國民として誤れる印象を抱かしむるが如きは斷じてなすべき事ではない。我等は必しも一閣僚の言葉尻を捉へて斯くいふのではない。平素各省の間に於て貿易政策に關し未だ歸一せる大方針なく、暗中摸索の状態にある事を知る故に、敢て此の事を指摘する。

△轉失業對策の先決要件（中外）

原材料の入手難、取扱商品の減少、利鞘の縮少等の原因によつて中小商工業は勿論、大規

模な企業においても事業の縮小轉換を餘儀なくし之に基く轉失業者は可成りの數に上つてゐる。事變以來政廳の轉失業者對策は巨額の國費と多角的施設を通じて全國に一應の努力を致したことは多とするが今日重ねて之を問題とせざるを得ないのは、客觀的事態の深刻化、從來施設の微温的で且つ多くの缺陷ありしたためもあるが一層重大な原因として指摘したいのは政府從來の方針が統制萬能主義に隨し、統制によつて行ざる、窮極の利害得失を嚴密且慎重に較量しなかつたといふ點である。低物價政策も行過ぎれば生産力の萎縮を來し、配給統制も過度に強行し極端に中間配給業者を淘汰すれば價格の引下げは可能でも弱小事業者の破産失業といふ一層憂慮すべき事態おこり、配給を澁滞せしめ、實質的には物價騰貴の場合と何等異らざる物資缺乏を招く。低物價政策にせよ配給統制にせよ眞の効果を確保し得る程度範圍には自ら限度があると同時にこの限界をどこにおくかを見極めなければその結果であり副産物たる轉失業問題に對する政府の視野が定まらないと共に、轉失業對策の對象となる業者側にしても徒らに暗中摸索を續けねばならぬであらう。此意味において、政府が轉失業問題の根源をつきとめ之に對する政府の方針と見通しを一般業者に諒解せしめることが先決要件である。

△其他(略)、「翼賛運動愈々發足」(國民)、「大政翼賛會、二重の責任 翼賛會と議會、國民の周知、吾等の憂慮」(都)

141
1 (10月14日)
本日の新聞論調 (第六百四十二號) 内閣情報部 五〇・三(日)(月)

内 容 目 次

- △大政翼賛會の發會
 - 一、大政翼賛會發足す(朝日)
 - 一、果して聯合敵國か(讀賣)
 - 一、英米共同攻勢に對して(中外)
- 一、大政翼賛會の發足(日日)
- △電信七十年電話五十年(朝日)
- 一、大政翼賛會の發會(讀賣)
- △國民生活の確保(日日)
- 一、翼賛會發會・本日の大會(都)
- △軍需品の闇と其の防止(朝日)
- △日獨伊同盟成立の波紋
- △觀光局存續(都)
- 一、三國同盟の効果(報知)
- △平和的解決を望む(泰佛印紛争)(朝日)

X X X

△大政翼賛會の發會
一、大政翼賛會發足す(十三日付朝日)